



えほんの紹介

『かじってみたいな、お月さま』

フランク・アッシュ エとぶん 山口文生 やく 評論社

ある夏の夜、クマくんはコトリとお月さまをみながら、「ぼく、お月さまをばくつかじってみたい。おいしいだろうなあ」とつぶやきました。クマくんは、お月さまに行くためにロケットを作りました。秋の終わりころ、やっとできたロケットにのりこんで「10.9.8.7.6.5.4.3.2...」とかぞえ始めたのに、ぐっすり眠ってしまいました。さて、クマくんはお月さままで行けたのでしょうか。そしてお月さまはどんな味だったのでしょうか。

空気の澄んだ秋から冬にかけてのお月さまは、とてもきれいですね。



『くんちゃんのだいいょこう』

ドロシー・マリノ 文/絵
石井桃子 訳 岩波書店

そろそろ、くまの親子の冬ごもり季節です。でも、子ぐまのくんちゃんは、暖かい南の国へわたっていく鳥たちに話をきき、自分も行ってみたくなりました。そこで鳥たちをおって丘の上の木を目印にでかけますが、おかあさんにさよならのキスをしてこなかったのが、家までもどりおかあさんにキスをする、また丘を登ります。でも今度は双眼鏡がないことに気づきとりにもどり、また丘を登りますが、次々に忘れ物に気づき、家と丘を行き来しているうちに、くんちゃんはすっかりくたびれてしまい、とうとう……。そんなくんちゃんの様子をおかあさんとおとうさんはあたたかく見守ります。わずかに色を入れたペン画がお話をやさしくつつみます。



今月は、近頃あちこちに出没する熊のニュースに心を痛めています。そこで、絵本の中のくまの物語を二つご紹介いたします。祈りをこめて。

小さなおともだち “結婚をもうしこみました”

小児科病棟のプレイルームでは年齢の別なく一緒に遊びます。今日は男の子がふたり、小学2年生のKちゃんと3才のRちゃんが遊んでいます。Kちゃんは小さい子と遊んであげるのがとても上手です。はずかしがりやの子もいつの間にか一緒に楽しく遊ばせてくれて、Kちゃんは頼もしい人気者です。

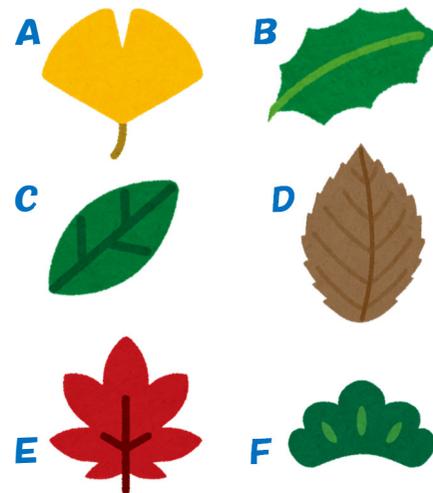
ある時、RちゃんはKちゃんに結婚をもうしこみました。「結婚してください！」手にはおもちゃのトウモロコシを握りしめて、Kちゃんの顔の前にかかっています。すると、Kちゃんは「だめだわ、おれ、彼女いるんだ」ですって。Rちゃん、残念！2回目のもうしこみにもかかわらず、またも断られてしまいました。



木の葉の名前あて

枠の中の木の葉はどれでしょう？

- 1 もみじ
- 2 まつ
- 3 さくら
- 4 いちょう
- 5 つばき
- 6 ひいらぎ



(答え) 1-E 2-F 3-D 4-A 5-C 6-B

季節のわらべうた

♪ もどろもどろ もものはもどろ
かえろ かえろ かきのはかえろ

日本語の韻をふんだ美しいわらべ歌です。手をつないで歩きながら歌ったり、手のひらを葉っぱにして上にしたり、下にしたりしてくり返して歌います。

